

## 国内の諸状況について

### 1 国内における感染者数(3月26日時点)

- (1) 国内における感染者数 2,004名  
(国内事例：1,292名、クルーズ船事例：712名)
- (2) 中国地方における感染者数 7名  
(岡山県：1名, 広島県3名, 山口県：3名)
- (3) 県内における状況
  - ・患者発生無し(3月26日時点)
  - ・PCR検査件数 141件(すべて陰性)
  - ・発熱・帰国者接触者相談センターへの相談件数 2,253件(3月26日現在)

### 2 国県の動向

- (1) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく対策本部の設置
  - ・政府対策本部設置 (3月26日 閣議決定)
  - ・鳥取県対策本部設置 (3月27日)
- (2) 鳥取県新型コロナウイルス感染症対策行動計画の策定(3月27日)

### 3 国の感染症対策専門家会議の見解(3月19日)

#### 状況分析

##### 国内感染状況と対策の効果

- ・爆発的な感染拡大は進んでおらず、持ちこたえているが、都市部等の一部地域で感染拡大がみられ、どこで感染したのかわからない人が増えている。
- ・感染源がわからない感染者が増加していくと、爆発的な感染拡大(オーバーシュート)が生じ、大規模流行につながりかねない。
- ・大規模イベントの自粛、学校休校、時差出勤等を実施し、新規感染者数の若干の減少が見られ、感染拡大に効果があった。

#### 提 言

##### (1) 3条件を避ける対応

- ・次の3つの条件が同時に重なった場所を避けるよう周知徹底
  - ①人混み ②換気の悪い密閉空間 ③近距離での会話や発声
- ・大規模イベントは、主催者がリスクを判断して慎重な対応が求められる。

##### (2) 重傷者優先の医療体制

- ・軽症者等は自宅療養し、重症者を優先する医療体制へ変更が必要  
※現在は、まん延防止の観点から、入院治療の必要のない軽症者も含めて、感染症法の規定に基づく措置入院の対象としている。

##### (3) 感染状況に応じた対応

- ・感染状況により地域ごとに対応し、感染が確認されていない地域では、学校における様々な活動や、屋外でのスポーツやスポーツ観戦、文化・芸術施設の利用などを、適切にそれらのリスクを判断した上で、感染拡大のリスクの低い活

動から実施。ただし、急激な感染拡大への備えと、「3つの条件が同時に重なる場」を徹底的に回避する対策は不可欠。

#### 4 安倍総理の発言（3月20日）

##### (1) 政府の今後の対応として

- ・感染連鎖を断ち切るためクラスター対策の抜本的強化
- ・重傷者への医療に重点を置く医療提供体制の整備 に取り組む

##### (2) 次の3つの条件が同時に重なった場所を避けるよう国民へ要請

- ①人混み ②換気の悪い密閉空間 ③近距離での会話や発声



**新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。**  
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

厚生労働省HPより

##### (3) 学校対応

学校については、新学期を迎える学校の再開に向けて、具体的な方針をできる限り早急に文部科学省において取りまとめる。

※令和2年3月24日、文部科学事務次官が「新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の実施に関するガイドライン」を発出

##### (4) 大規模イベント

全国規模の大規模イベント等は、主催者がリスクを判断して慎重な対応が求められるとの見解が示されたことから、今後は、主催者がこれらを踏まえた判断を行う場合には、感染対策のあり方の例も参考にすること。